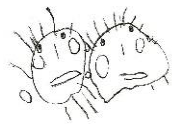


いっぽ だより



2022年度 No. 3

はじめのいっぽ

2022年6月27日

畑の小麦やじゃがいも、そしてビートと日増しに緑が濃くなり成長していく様子を毎日眺めながら生活していると、何かしらいっぽの子どもたちの成長と重なる今日この頃、父母の皆様、そして理事・会員・協力者の皆様如何お過ごしでしょうか。

新学期がスタートして3ヶ月。子どもたちは学校やいっぽにすっかり慣れてきた様子で楽しく生活しております。いっぽのミーちゃんメーちゃんも先日、増田めん羊牧場の増田さんと息子さんに毛刈りをしてもらい、さっぱりしてご機嫌！毎日元気な子どもたちの様子を見守っています。

毎月行われる定例会議では、子どもたちの様子を話し合い、その子に合った関わりを検討しています。さらには遠い先の事でなく、まさにその日、その時、その場で、その子に寄り添った支援ができるように、職員は毎日のミーティングを通じて、子どもの様子を共有しながら、“ゆっくり・じっくり・ていねいに”を基本に取り組んでおります。

最近の気になるニュースによると、子どもの視力低下や近視の子どもが増えているようです。原因は至近距離で物を見るからだそうで、パソコン・タブレット・スマホ・ゲーム機等は長時間使用するのはなく、間に休憩を取りながら使用する必要があるとのこと。「目は大事！」親御さんはお子さんのことを注意して見守って声掛けしてあげてください。

さて最近のいっぽ農場(途別)の様子ですが、一昨年に植えた果樹の苗木、ブドウ・ハスカップ・ブルーベリー・梅・サクランボ・グミが順調に育っています。そこに長崎先生がいっぽに何か記念になるものかと考え、先日りんごの木をプレゼントして下さいました。いっぽの子どもたちがゆっくりと成長していくように、このりんごの木も皆で手をかけて育てていって下さいとの思いです。何年かして実ったりんごを見て、「これは長崎先生が植えたりんごの樹だよ」と後輩の子どもたちに伝えられるよう、私たち大人は日々子どもたちと正面から向き合うための努力をしなければと改めて思っています。



代表 石橋 和久

防災訓練についてパート3

6月20日、職員定例会議に於いて3度目の防災の話し合いと現場訓練を実施いたしました。1回目2回目に出された疑問や対処の仕方を全員で移動しながら確認し、更なる疑問や課題をぶつけ合いました。その場その場で変化をする防災の対処すべき課題は、限りがないと思いますが、できる限りのことを考え対応して行こうと考えております。今回は、ガラス破片への対応・ブレーカー、ガスの元栓、水道の元栓のそれぞれの位置と操作方法を、結と弥生の現場でじっくり確認し、最後に備蓄品のチェックも行いました。

7月のスケジュール

日時	行事
7月 8日 (金)	あっちこっち紙芝居
7月16日 (土)	いっぽ食堂
7月19日 (火)	定例会議 (4回目職員避難訓練)
7月20日 (水)	あっちこっち紙芝居
7月25日 (月)	夏休みスタート

小中学生編

6月のいっばは、子どもたちの運動会の練習や遠足などで疲れ気味かな？と、のんびりスケジュールを考えていましたが、外に出ると子どもたちは元気いっぱい！流行りはバトミントン・・・サーブの段階から空振りばかりだった子どもたちは今ではラリーが出来るまでになっています。また、滑り台から東屋の間にロープを渡し、6月はジップライン（ターザンロープ）勇気を必要とする遊びに今月もチャレンジ！ドッジボールは相変わらずの人気ですが、応援団が結成され、盛りあがりもピークに！

じっくり取り組むチームは、あさがおの種植えから日々時間をかけての観察、クローバーの四ツ葉探しとおしゃべりに夢中のお友だち・・・室内では水彩絵の具でお絵かきや独創的なブロック制作が大人気！遊びの中でも勉強をと、外の石拾いでは限りなく1kgを目指して石拾い！さて1kgに一番近い優勝者は？

975gでした



羊の毛刈り

6月6日、羊の毛刈りをしました。毎年ボランティアで毛刈りをしてくれている増田牧場の増田さん「本当にありがとうございます」。今年は親子で毛刈りに駆けつけてくれました。また、見学に“おひさま保育園”の子どもたちも参加し、日ごろお散歩途中で柵の外側から見ていた羊を間近で見てもらうことが出来ました。

さて今回で3回目の毛刈り・・・1回目は刈られた後の姿が、羊からヤギのようになり、今では羊から子牛のようにブクブクとなっています。少しダイエットしたほうが良いとの事で、子どもたちと一緒に走り回れる運動スペースをどうしたら作れるか？ また、羊毛100%の毛糸もだいがストックされてきましたので、何を作るか？ 子どもたちと一緒に考えて行こうと思います。



スマートだった
2,020年のミーちゃん

ひつじ組 編 (午前未就学児)

4月からスタートのお友だち・・・今では仲良く仲間で遊ぶ姿が良く見られます。最初の頃、自分のしたいことが“てんでバラバラ”「ボクこれする〜」「わたしあれする〜」と一人遊びが当たり前の活動から始まりました。そんな日々の中から、他の子が楽しそうに遊んでいる姿を見て、「やってみよう!」と強引によこはいり・・・当然トラブルです。そんなことを繰り返しながら、どうしたら楽しく遊べるのか“言葉によるコミュニケーション”“相手を思いやる優しさ”を少しずつ学びながら、今では写真の通り仲良く自然体で遊んでいます。幼少期において最も大切な社会性が日々育っている姿にスタッフも笑みがこぼれます。また、一つのことに集中する時間も少しずつ長くなり、今では自分が納得するまで取り組む姿が見られます。こんな姿も、日々写真の記録を撮り続け比較するとよくわかります。

平成24年にいっぽが開設されてから撮り続けた写真は、10万枚を越えています。とっても大切ないっぽの宝物となっています。保存し管理するのはたいへんですが、これからも子どもたちの姿を撮り続けて行きたいと思います。



日々の姿に思う事

“アクティブなことが、出来るようになった。”
“カレーライスが食べれるようになった。”
“ひつじさんと仲良くなれた。”

一つひとつが自信となり、次にステップアップしようとする意欲につながる環境づくりが私たちの仕事と考えています。



お知らせ

十勝振興局福祉課より保護者様へ向けた研修の案内が届きました。下記内容で開催されますが、参加希望される保護者様に於かれましては、申し込み書をはじめのいっぽにてご用意いたしておりますのでご連絡いただければと思います。参加人数に限りがありますので、早目の申し込みをお勧めいたします。

北海道家族支援体制整備事業

受託事業者 特定非営利活動法人北海道学習障害児・者親の会クローバー

北海道ペアレントメンター養成研修

「ペアレントメンター」になってみませんか？

【目的】

ペアレントメンターとは、ペアレント（親・保護者）メンター（信頼のおける相談相手）という意味です。発達障がいのあるお子さんを持つ親御さんが、同じ立場の親御さんのお話に耳を傾け、診断を受けたばかりで感じている不安や、日々の子育てにおける悩みなどに寄り添い、共感し、必要に応じて、支援内容や関係機関の情報提供をします。

また、メンター自身も相談を受ける立場になることで、自分の子育てを振り返ることができます。

※下記にペアレントメンターのパンフレットを掲載しています。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/hattatu_shougai.html



【方法】

本研修は1日目の基礎研修（メンターとして必要な基礎知識と技術に関する講義及び実習）、2日目の応用研修（基礎研修受講後の応用研修として、知識や技術の向上を図るための講義及び実習）の計2日間で構成されており、両日参加された方がペアレントメンターになることができます。

主催： 特定非営利活動法人北海道学習障害児・者親の会クローバー

日時： 基礎研修 令和4年8月20日（土）10:00～16:10

応用研修 令和4年8月21日（日）10:00～16:10

会場： 北海道立道民活動センターかでの2・7（札幌市中央区北2西7）

8月20日（土）520会議室、8月21日（日）1070会議室

研修内容： 別紙タイムテーブルのとおり

参加対象： 発達障がいのあるお子さんを持つすべての親御さん（札幌市在住の方除く）

参加費： 無料

定員： 30名（先着順）

※定員を超えるお申し込みがあった場合、参加をお断りすることがあります。

※参加の可否はメール又は電話でお知らせします。

【申込み・問い合わせ】

申込用紙に必要事項を記入し、下記までメール又はFAXでお申し込みください。

○受付： 特定非営利活動法人 北海道学習障害児・者親の会クローバー

○メール： parent_spthkd@outlook.jp

↑ アンダーバーが入ります

○FAX： 011-717-4610

○申込期限： 令和4年8月5日（金）

【注意事項】

○当日、発熱のある方は参加できません。

○必ずマスクを着用し、ご参加ください。

○入室の際、手指消毒、ソーシャルディスタンスのご協力をお願いします。

たくさんの皆様のご参加を心よりお待ちしております。